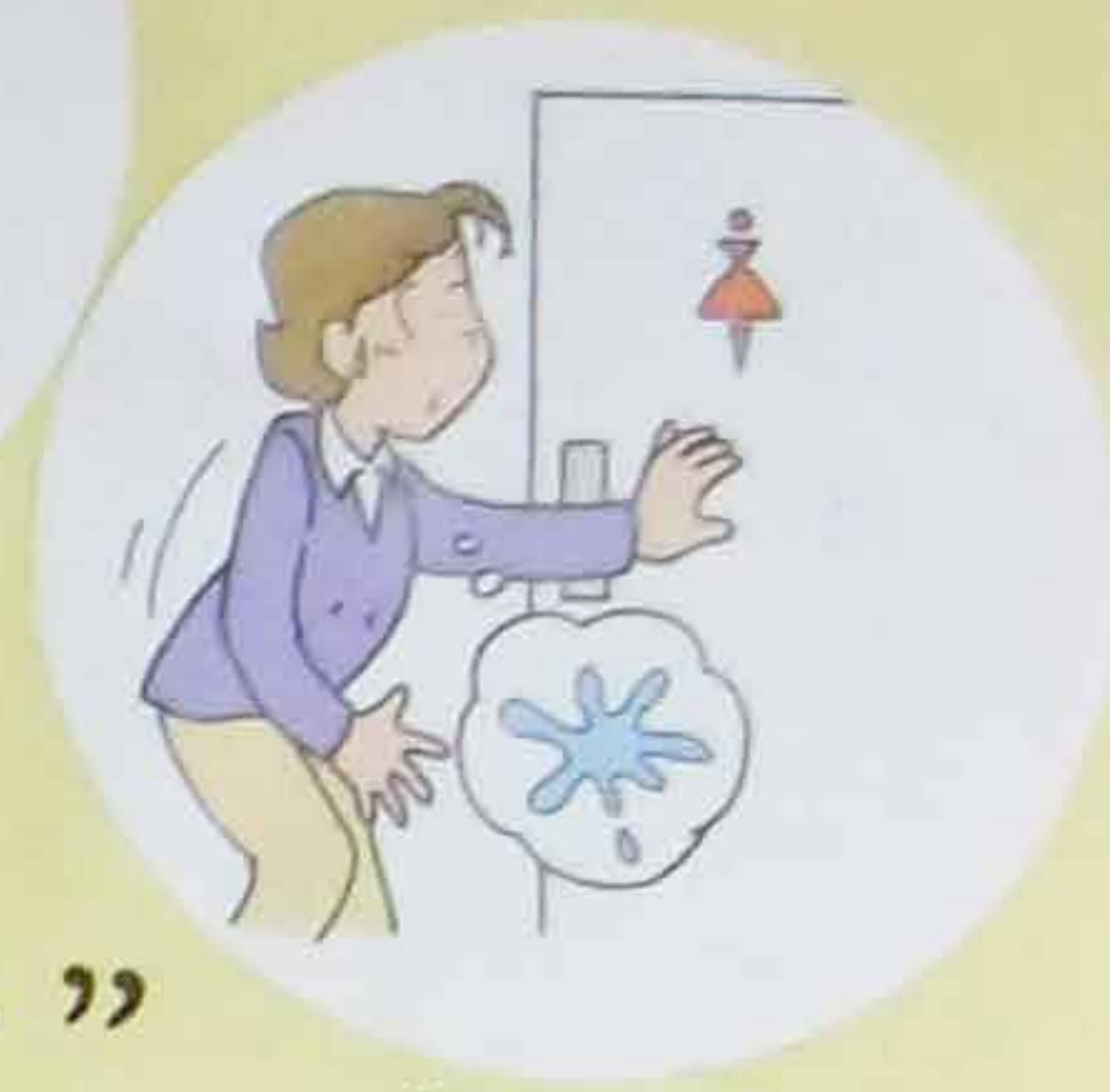


過活動膀胱(OAB)



過活動膀胱とは？

頻尿や尿失禁の分野における新しい診断名です。

膀胱に尿が溜まってくると「尿が溜まりました」

「まだ出してはいけません」、「はい出していいですよ」

という信号のやりとりが脳と膀胱や尿道の間で神経を介して
交わされます。その結果排尿が行なわれます。ところが脳と膀胱
を結ぶ神経に障害が起きた場合信号トラブルが起きて脳と膀胱の
間のやりとりがうまくいかなくなります。主に自覚症状に基づいて診断されますが尿意切迫感(排尿したくて我慢できない状態)がありしばしば頻尿を伴い、ときに切迫性尿失禁をきたす排尿障害です。

原因は何か？

排尿筋が過剰に活動することが過活動膀胱の原因であり
神経因性と非神経因性に分類されます。

1.) 神経が原因と考えられるもの

脳血管障害、脳外傷、脊髄損傷、パーキンソン病、認知症 など

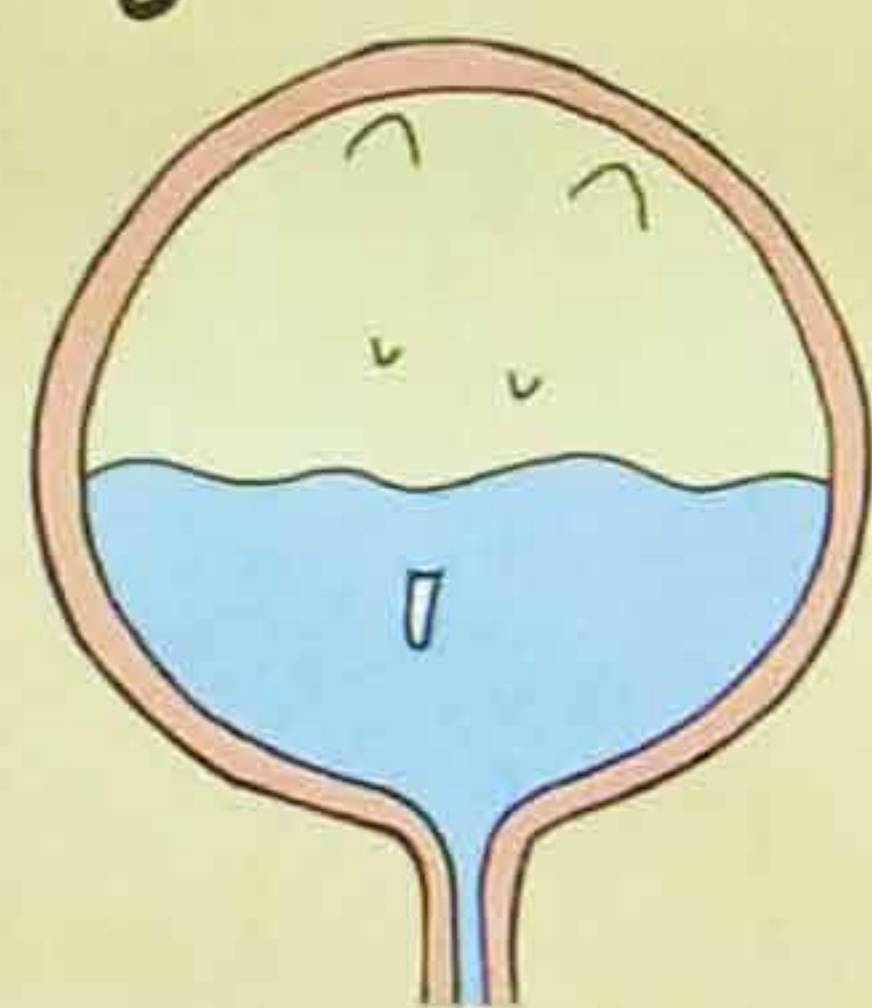
2.) 神経以外が原因と考えられるもの

下部尿路閉塞(前立腺肥大症)、加齢変化、骨盤底筋障害 など

症状の現れ方

膀胱には腎臓で集められた水分と体内の老廃物を尿として保持する機能があり膀胱が一定の大きさに達すると尿意を脳に伝えて排尿を行う働きがあります。過活動膀胱は膀胱が異常な働きをするために、尿が充分たまっていないうちに急にがまんできない尿意が起こります。

〈正常な膀胱〉



〈過活動膀胱〉



尿トラブルは多くの場合薬で改善することが出来ます。

歳のせいとあきらめず一人で悩まずに早めに医師に相談しましょう。



元気でいきいきとした
生活を送り、夜も
ゆっくり休めるように

